

ぬくもり

2026年2月24日(火)

7年学年主任責任編集発行

終わりをければすべてよし!?

「1月は行ってしまふ、2月は逃げてしまふ、3月は去ってしまふ」と言われるように、つい、この間、「あけましておめでとう!今年もよろしく!!」なんて、言っていたのに、気がつけばもう2月が終わろうとしています。3学期も残すところあと1ヶ月を切りました。この時期になると、いろいろなことが年度内最後を迎えます。先週あったスマイルタイムや各種委員会はもうすでに終わってしまいました。そして、今週末にある学年末テストは、7年生として最後のテストになります。「終わりをければすべてよし」という言葉、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか?みんなはこの言葉をどうとらえますか?先生はビミョーだなと思います。なぜなら、この言葉は「結果がすべて。その結果を出す過程は重要ではない。」ととらえることができるからです。でも、先生は過程が重要ではないなんてことは、絶対にないと思います。7年生が主体となって作り上げた合唱コンクールで、みんな自身がそれを証明してくれましたよね。だから、その過程が重要でないとすることは到底できないと思います。ただ、確かに、結果で物事が判断されることは多くあります。受験なんて、その最たるものです。でも、先生はみんなには、人を結果だけで判断するのではなく、過程も大事にして判断できる人になってほしいと願っています。7年生が終わるときに、「過程もふくめて、終わりをければすべてよし!!」そうやって言える7年生の最後を迎えてほしいと思います。まずは、今週末の学年末テストで、「過程もふくめて、終わりをければすべてよし!!」と言えるように、テスト当日だけでなく、テスト当日までを精一杯尽くしてください。



素直さ・縁(仲間)・考え続けること(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に!!